日刊 連携会議 2011/8/30第85号

石狩市他支部交流視察研修報告(富良野フォーラム)

学校事務のあり方と創造的展開の探求　～領域実践を前提として学校間連携
課題の共有と解決のための組織化をめざして～

石狩市公立小中学校事務職員協議会においては、７月２８日(木)から２９日(金)に開催されました、２０１１富良野フォーラムに後援団体として参加して参りました。

会会行事の後に、ゲストの尾崎公子(兵庫県立大学環境人間学部教授)によるトライアスロン講演となり、いつも皆を引っ張っている樽川中学校の常陸敏男さんによる司会進行で始まり、協力者として富良野市教育委員会の学務係長、南富良野町金山中学校長、富良野緑峰高校事務長、東川町立東聖小学校教諭、芦別市立芦別中学校養護教諭の皆さんが意見をのべられました。

コーディネーター(調整する人)として、現地実行委員会の佐々木雅臣氏でした。

昼食は実行委員会事務局によるカレーをいただいて、室温２８度設定の暑い部屋を逃げだして、涼みに行ってきました。

開始時間にちゃんと間に合っています。

１３時４０分からトライアスロン２においては司会が南幌小学校の久保さんでコーディネーターが副実行委員長(江別市)となっていましたが、花川南小学校の小島康司さんでした。

休憩をはさんで、トライアスロン３は、司会が、全道の会長である北見市の名達さん、コーディネーターが旭川市の中辻さんとお偉いさんによる話し合いでした。

トライアスロン１　テーマ　「学校はどこに向かう～現状を認識し、未来を予見する～」
トライアスロン２　　　　　「地域を見つめる～学校の複合的機能に着目する～」
トライアスロン３　　　　　「切り結ぶ学校事務～学校変革を求めて」

以上の３点がテーマとして話し合いをしていました。
終了後、ホテルに向かい、１８時１０分に交流会場に向かいました。(北峰舎)

始まってすぐに
まったり状態の事務局長

今にも
雨が降りそうな富良野岳

いい顔していますね。

石狩市の人ではないのでした。

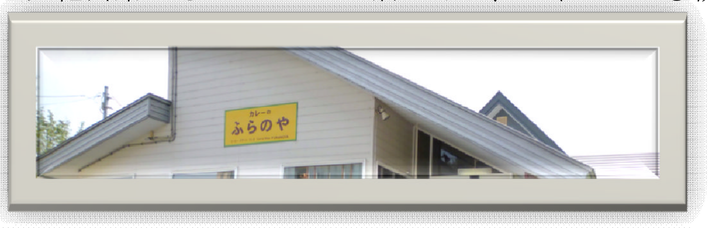
普段の行いがよい人ばかりそろったのか、見事に土砂降りのゲリラ雨に当たりました。
せっかくのへそ祭りを見に行くどころの騒ぎではありませんでした。
真面目な我々は、早くにホテルに戻って、次の日に備えましたが、残った人たちは・・
二日目は、三連携会議交流会として実践交流となりました。
実践交流(石狩市→北見市→富良野市の順)発表・質疑応答・研究協議
石狩市の発表者は厚田小学校の外崎さん、北見市は名立さん、富良野市は事務局の人。
そうそうたる、他の学校間連携の発表者にたいをはって外崎さんが発表いたしました。

発表前に再チエックを入れている常陸事務局長。

堂々と発表しています。

石狩市の学校間連携として、２０１０年度の活動についての説明をしました。
なお、ホームページに提言等が載っていますのでご覧ください。
難しい質問も出ずに、スムーズに終わりました。
研究協議２では、全員に発言をと、ただし長すぎるのは途中で司会に止められました。
結論という部分でなく、発展途上の深化発展へと考えて行ければと思います。
残念なことは、盛りだくさんの内容によりもう少し深めることができなかったことか考えます。
とにかく２日間、ほとんど団扇で扇ぎ続けていた会議でした。
後援として、名前を連ねていながら、恵庭市の他支部視察研修の参加者よりも少ない一桁とははなはだ寂しい限りでした。

暑すぎて疲れた２日間で、最後の昼食も熱いカレーとなりました。
文化会館のそばにカレーの店があり、じゃらんにも載っている店です。



スープカレー　　辛さ一人だけ３、後は皆５。
３でも辛すぎた。

以上、写真でごまかしの報告です。

文責 花川中学校　高橋